記者席配付資料
令和８年11月６日
文化スポーツ部
文化スポーツ企画室
文　化　振　興　課

令和８年度「岩手県文化スポーツ表彰」及び令和８年度「いわて暮らしの文化特別知事表彰」の受賞者の決定について

令和８年度「岩手県文化スポーツ表彰」及び令和８年度「いわて暮らしの文化特別知事表彰」の受賞者を下記のとおり決定しましたので、お知らせします。

１　受賞者　※50音順。年齢は令和８年11月18日現在。

(1) 岩手県文化スポーツ表彰（個人16名、１団体）

本表彰は、本県の文化及びスポーツの振興に顕著な功績のあった個人又は団体を表彰するものです。

ア　文化分野（個人６名）

牛越（うしごえ）　恂（じゅん）（93）　盛岡芸術協会　元会長
小柳（こやなぎ）　玲子（れいこ）（74）　岩手県洋舞協会　元会長
高田（たかだ）　啓介（けいすけ）（74）　画家
水木（みずき）　歌優（かゆう）（85）　岩手県邦舞協会　相談役
屋形場（やかたば）　正蔵（まさぞう）（81）　九戸村文化協会　元会長
渡辺（わたなべ）　めぐみ（77）　岩手県弦楽研究会　副会長

イ　スポーツ分野（個人10名、１団体）

浅沼（あさぬま）　道成（みちなり）（68）　一般社団法人岩手県テニス協会　元会長
伊藤（いとう）　和男（かずお）（78）　金ケ崎町スポーツ協会　理事
伊東（いとう）　三四司（みよし）（83）　一般社団法人一関市スポーツ協会　元理事
及川（おいかわ）　好布（よしのぶ）（73）　岩手県弓道連盟　副会長兼理事長
川島（かわしま）　潔子（きよこ）（79）　岩手県武術太極拳連盟　理事長
菊池（きくち）　長悦（ちょうえつ）（77）　遠野市スポーツ少年団　元副本部長
児玉（こだま）　進（すすむ）（81）　岩手県ソフトテニス連盟　元副会長
髙橋（たかはし）　幸平（こうへい）（26）　元競技者
對馬（つしま）　範彦（のりひこ）（80）　一般社団法人岩手県バレーボール協会　元常任理事
八重樫（やえがし）　寛二（かんじ）（76）　一般社団法人岩泉町スポーツ協会　副会長
一般社団法人岩手県バレーボール協会（いっぱんしゃだんほうじんいわてけんきょうかい）

(2) いわて暮らしの文化特別知事表彰（個人２名、１団体）

本表彰は、県民の日常生活に密着した文化的・芸術的な活動を通じ、本県の文化の創造に顕著な功績のあった個人又は団体を表彰するものです。

内澤（うちざわ）　稲子（いねこ）（66）　ライター

松本（まつもと）　伸（しん）（70）　松本伸弦楽器工房　代表

株式会社川徳（かわとく）

２　表彰式

(1) 日時　令和８年11月18日（水）　10時30分～12時00分

(2) 場所　サンセール盛岡　１階　大ホール（盛岡市志家町1-10）

【岩手県文化スポーツ表彰　担当】
文化スポーツ企画室　管理課長　大内、主査　志田（019-629-6793）
【いわて暮らしの文化特別知事表彰　担当】
文化振興課　総括課長　和田、文化芸術担当課長　工藤（019-629-6288）

受賞者一覧　※50音順。年齢・役職は令和８年11月18日現在。

１　岩手県文化スポーツ表彰（個人16名、１団体）

(1) 文化分野（個人６名）

区分	氏名・年齢	役職等	功績の内容
個人	牛越（うしごえ）　恂（じゅん） (93歳・盛岡市)	盛岡芸術協会 元会長	多年にわたり協会の要職を歴任し発展に尽力するとともに、地域における文化芸術の振興に大きく貢献した。
	小柳（こやなぎ）　玲子（れいこ） (74歳・盛岡市)	岩手県洋舞協会 元会長	多年にわたりバレエ教室の指導者として活躍し、本県文化の振興に大きく貢献した。 【指導した生徒の主な受賞歴】 H29　太田倫功：ローザンヌ国際バレエコンクール ファイナリスト R７　岩井優花：芸術選奨文部科学大臣新人賞 （舞踊部門）
	高田（たかだ）　啓介（けいすけ） (74歳・二戸市)	画家	多年にわたり洋画家として活躍し、本県文化の振興に大きく貢献した。 【主な受賞歴】 H６　日展入選（以後15回） H26　梅津五郎芸術賞最優秀賞 R１　日展特選、河北美術展河北賞 R４　日展特選
	水木（みずき）　歌優（かゆう） (85歳・盛岡市)	岩手県邦舞協会 相談役	多年にわたり協会の要職を歴任し発展に尽力するとともに、本県邦舞踊の振興に大きく貢献した。
	屋形場（やかたば）　正蔵（まさぞう） (81歳・九戸村)	九戸村文化協会 元会長	多年にわたり協会の要職を歴任し発展に尽力するとともに、地域における文化芸術の振興に大きく貢献した。
	渡辺（わたなべ）　めぐみ (77歳・盛岡市)	岩手県弦楽研究会 副会長	多年にわたり研究会の要職を歴任し発展に尽力するとともに、本県弦楽の振興に大きく貢献した。

(2) スポーツ分野（個人 10 名、１団体）

区分	氏名・年齢	役職等	功績の内容
個人	浅沼（あさぬま）　道成（みちなり） (68歳・盛岡市)	一般社団法人岩手県テニス協会 元会長	多年にわたり協会の要職を歴任し発展に尽力するとともに、本県テニス競技の普及振興に大きく貢献した。
	伊藤（いとう）　和男（かずお） (78歳・金ケ崎町)	金ケ崎町スポーツ協会 理事	多年にわたり地域におけるスポーツ団体の要職を歴任し発展に尽力するとともに、地域におけるスポーツの振興に大きく貢献した。

区分	氏名・年齢	役職等	功績の内容
個人	伊東（いとう）　三四司（みよし） （83歳・一関市）	一般社団法人一関市スポーツ協会 元理事	多年にわたり地域におけるスポーツ団体の要職を歴任し発展に尽力するとともに、地域におけるスポーツの振興に大きく貢献した。
	及川（おいかわ）　好布（よしのぶ） （73歳・花巻市）	岩手県弓道連盟 副会長兼理事長	多年にわたり連盟の要職を歴任し発展に尽力するとともに、本県弓道競技の普及振興に大きく貢献した。
	川島（かわしま）　潔子（きよこ） （79歳・盛岡市）	岩手県武術太極拳連盟 理事長	多年にわたり連盟の要職を歴任し発展に尽力するとともに、本県武術太極拳競技の普及振興に大きく貢献した。
	菊池（きくち）　長悦（ちょうえつ） （77歳・遠野市）	遠野市スポーツ少年団 元副本部長	多年にわたり地域におけるスポーツ団体の要職を歴任し発展に尽力するとともに、地域における剣道競技の振興に大きく貢献した。
	児玉（こだま）　進（すすむ） （81歳・一関市）	岩手県ソフトテニス連盟 元副会長	多年にわたり連盟の要職を歴任し発展に尽力するとともに、本県ソフトテニス競技の普及振興に大きく貢献した。
	髙橋（たかはし）　幸平（こうへい） （26歳・矢巾町出身）	元競技者	多年にわたりパラアルペンスキー競技において優秀な成績を収め、本県スポーツの普及振興に大きく貢献した。 【主な競技成績】 R１　パラアルペンスキー競技大会アジアカップ 男子大回転立位第２戦／男子回転立位第１戦 優勝 R３　北京パラリンピック冬季競技大会 アルペンスキー男子回転　第12位 R４　ジャパンパラアルペンスキー競技大会 男子回転立位　優勝 R５　ジャパンパラアルペンスキー競技大会 男子スラローム立位　優勝 R７　ジャパンパラアルペンスキー競技大会 男子ジャイアントスラローム立位　優勝 ＦＩＳパラアルペンスキー大会 回転男子立位　第３位
	對馬（つしま）　範彦（のりひこ） （80歳・盛岡市）	一般社団法人岩手県バレーボール協会 元常任理事	多年にわたり協会の要職を歴任し発展に尽力するとともに、本県バレーボール競技の普及振興に大きく貢献した。
	八重樫（やえがし）　寛二（かんじ） （76歳・岩泉町）	一般社団法人岩泉町スポーツ協会 副会長	多年にわたり地域におけるスポーツ団体の要職を歴任し発展に尽力するとともに、地域におけるスポーツの振興に大きく貢献した。

区分	氏名・年齢	役職等	功績の内容
団体	一般社団法人岩手県バレーボール協会		昭和21年の設立以降、岩手国体・全国高校総体等の運営など、多年にわたりバレーボール競技を主管するとともに、公民連携による国内トップリーグ公式戦・国際親善試合の県内開催の支援や、国内トップリーグチームと連携したバレーボール教室を開催するなど、本県のバレーボール競技の普及と振興に大きく貢献した。

２　いわて暮らしの文化特別知事表彰（個人２名、１団体）

氏名・年齢	役職等	功績の内容
内澤（うちざわ）　稲子（いねこ） （56）	ライター	地域密着型情報誌『rakra(ラ・クラ)』創刊時の編集長を務め、ラヂオ盛岡「ネコの部屋」のパーソナリティとしても活躍。現在はフリーのライターとして活動している。 これまで、県内の情報を県内外に発信するとともに、県内の映画祭やアートイベントの開催に携わった。また、地域に根差したライター育成にも取り組み、本県の文化芸術を担う人材の育成に貢献している。
松本（まつもと）　伸（しん） （70）	松本伸弦楽器工房 代表	弦楽器製作者故植木繁氏に弟子入り、６年間修業の後、ドイツ、イタリアを中心に数多くの弦楽器製作者の工房（ヴァイオリン製作者、ヴィオラ製作者、チェロ製作者）、材木商等への訪問・研修を経て、帰国後の昭和61年、工房を開設。 地方都市では珍しいヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ工房で、長年にわたり県内外のアマチュア及びプロの演奏家の要望に応えている。 令和８年で創業40年を迎える。
株式会社川徳（かわとく）		慶応２年に現在の盛岡市鉈屋町付近で木綿商として創業。明治31年に「川徳呉服店」に改称、昭和12年に百貨店となり現在に至る。 「ダイヤモンドホール」や「ギャラリーカワトク」において様々な企画展、展示を行うとともに、「えびす講」の開始（大正９年）、盛岡初のアドバルーン広告（昭和６年）など、常に新しい文化を県民に届ける場としての役割も担っている。 令和８年で創業160周年を迎える。